

3/ 7 (土)

報酬ではなく恵みとして

創世記四三章15〜34節

ヨセフはベニヤミンと一緒にいるのを見て、家の管理者に言った。「この人たちを屋敷へ連れて行きなさい。……この人たちは私と一緒に昼の食事をするからだ。」(16)

再び食料を買いに来た兄たちを出迎えたヨセフは、食事の用意をするように僕たちに命じます。前回と異なり、手厚い歓待を受けて兄たちは戸惑い恐れず。兄たちはヨセフの疑いを晴らすため、支払ったはずの代金が各自の袋に返してあったことを説明し、二倍の銀を持ってきたことを家の管理者に告げます。けれども彼は、「あなたがたの父の神が、布袋に宝をかくしてあなたがたにくださったのでしよう」(23)と答え、銀を受け取ろうとはしませんでした。すべてが恵みとして与えられたのです。私たちが神から与えられた救いも、同じようではありませんか。私たちの功績に対する報酬として永遠の命が与えられたのではなく、何の資格もない者たちに対して、ただ恵みとして救いが与えられたのです。恵みを恵みとして受け取り、心から感謝しようではありませんか。